

すいすい推敲シート

名前)

◆下書きで書いた文章と意図を見比べて、文章と意図がズレているところや、よりよく伝えたいところを探そう。

もっと**正しく**
・・・自分が本当に伝えたいこと(意図)を確かめる

1. 意図を明確にもつ

○その気持ちになった理由を深く考える

自分も練習したのに実力を
出せず悔しかった

・悔しかった↓
花村さんに負けたような気がして悔しかった

家族にかっこいい姿を見せられなくて悔しかった

○改めてその気持ちを言葉にする

↓ いら立った、腹が立った

・悔しかった↓ねたましかった、ずるい

↓ 情けなくなった

この部分でよくが伝えたかった
「(気持ち)」は、・・・



もっと**分かりやすく**
・・・読み手に自分の意図が伝わる
出来事や経験が確かめる

1. つながり確かめる

○意図と出来事や経験のつながり

自分も練習した
が実力 練習の様子と本番で
上手にできなかった様子
を出せず

× 家族が期待している様子と
悔しかった 本番で上手にできなかった様子

2. くわしさを考えて書く

○意図が伝わるくわしさにする

○足りない情報はないか考える

・見たこと・会話・行動・思いや考え

3. 読みやすさを考えて書く

○一つの文で伝えたいことを一つにする

○出来事と感想の文を分ける

意図と経験はぴったり
あっているかな?



もっと**強く**
・・・読み手に自分の意図が伝わる
表現(言葉)が確かめる

1. 表現を工夫する

○よりぴったりくる別の表現を探す

・うれしい、楽しい、幸せ、満足、充実、
達成感があった など(類語)

○表現技法を使う

・比喩(まるで〜のよう)
・反復(高く高く飛び上がった)
・倒置(僕は行く、この道を。)

・体言止め(ボールをけた、その瞬間。)
・擬音語・擬態語(ぼんぼん・わいわい)

・問いかけ(〜はあるだろうか。)

○慣用句やことわざを使う

意図と表現はぴったり
あっているかな?



大切にしたい言葉①

名前

(

)

◆二つの参考作品を読み、ずい筆の特徴について考えよう。

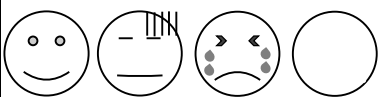


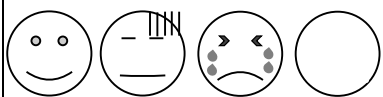
児童作文

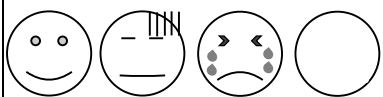
①二つのずい筆を比べて、共通点を見つけましょう。


児童作文

② ずい筆を書くことのおよびについて考えましょう。

大切にしたい言葉カード	名前 ()
本の題名・サイト名・新聞の日付など	大切にしたい言葉カード
どんな自分に伝えたい言葉？	

大切にしたい言葉カード	名前 ()
本の題名・サイト名・新聞の日付など	大切にしたい言葉カード
どんな自分に伝えたい言葉？	

大切にしたい言葉カード	名前 ()
本の題名・サイト名・新聞の日付など	大切にしたい言葉カード
どんな自分に伝えたい言葉？	

大切にしたい言葉カード	名前 ()
本の題名・サイト名・新聞の日付など	大切にしたい言葉カード
どんな自分に伝えたい言葉？	

大切にしたい言葉③

名前 ()

◆座右の銘と自分の経験を結び付けよう。

5W1Hで思い出そう

- 「いつ」
- 「どこへ」
- 「誰と」
- 「何を」
- 「どのように」
- 「なぜ」

作文四つの要素

- 「見たこと」
- 「行動」
- 「会話」
- 「感じたこと」

選んだ座右の銘

「
」

メッセージ

自分にとって、その言葉の意味（自分なりの見方や考え方）

大切にしたい言葉④

名前（

）

◆文章全体の構成を考え、構成メモを書こう。

一番伝えたいこと

文章の組み立て			
終わり	中	初め	
			出来事や経験、座右の銘の引用
			感想や意見、自分なりの見方や考え方

どのようなことに気をつけて構成を考えたか書きましょう。

大切にしたい言葉⑤

■自分の意図を振り返ろう

㊦

・この部分で伝えなかった「不安は、家で練習してセリフだけはきちんと覚えただけれど、本番でできるかどうか自信がもてないという「不安」だ。

・この部分で伝えなかった「悲しさ」は、緊張が高まってセリフを忘れてしまい、今まで努力したことがむだになった悲しさだ。

・この部分で伝えなかった「楽しくなかった」気持ちは、友達からセリフを教えてもらったことがはずかしいという気持ちだ。

・この部分で伝えなかった「いいな」という気持ちは、ぼくも練習したはずなのに、花村くんだけ上手にできて、うらやましいという気持ちだ。

伝わるか○△×

教科書

児童作文例による。

名前（

）

■書き直した言葉や文、書き直そうと思った理由などを書き込もう。

大切にしたい言葉⑤

名前)

◆友達とずい筆を読んで感想を交流し、自分の文章のよさを見つけよう。

--	--	--	--

◆学習をふり返ろう。

単元目標

1. 目的や意図を確かめながら書く力を身につけることはできましたか。

とてもよくできた よくできた あまりできなかった できなかった

4

3

2

1

理由

2. 推敲のポイントにそって書き直す力を身につけることはできましたか。

とてもよくできた よくできた あまりできなかった できなかった

4

3

2

1

理由

--

9	8	7	6	5・4	3	2	1	時間目
								日付
共有	記述	推敲	推敲	記述	構成	取材	見通し	学習内容
<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容、表現の工夫について感想を交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書こうとした意図が表現できているかを確かめながら、下書きを清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下書きを友達と読み合い、アドバイスをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 推敲の観点を使い、自分のずい筆を読み返す。 ○ 目的や意図を確かめて、書き直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構成メモをもとに、下書きを書く。 ○ 自分の意図をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章全体の構成を考え、構成メモを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 座右の銘にしたい言葉を決め、経験や感想を思い出して書く。 ○ 座右の銘を通して伝えたい考えや思いをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ずい筆の特徴を知り、学習の見通しをもつ。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ふり返り</div> たこと など めあてについて学んだこと、分かったこと、難しかったこと